

顧客満足が会社への恩返し

自動車部品や冷凍・冷蔵商品などの輸送事業をはじめ、整備事業、倉庫事業、不動産事業などを行っている萬運輸（東海林憲彦社長、神奈川県横浜市）。同社は今年、創業60年目を迎えた。

同社が誕生したきっかけは、創業者の故東海林昭市郎会長が戦時中、小学校で先生から聞いた「戦争が終わったら、平和産業として、自動車の時代が来る」という話が影響している。

昭市郎氏は山形で、4人兄弟の長男として生ま

第11回

空 一 理 万 わか社の足跡



萬運輸 東海林憲彦社長

くずを集めて、2次加工を行う東海林商店を昭和34年に創業した。

高度成長期で人手不足のなか、萬自動車工

昭市郎氏が19歳の頃に、創業者が山形出身という縁もあって萬自動車工業（現ヨロズ）への就職が決まり、山形から上京。

昭市郎氏は、「自動車で何か出来ないか」との思いから29歳で独立。廃品回収とスクラップで鉄

業は昭市郎氏に、同社の一般運送を任せたいという事で東海林商店に資本協力を行って、同37年に萬運輸を設立。萬自動車工業の限定免許から、運送業がスタートした。

その2年後には、大手洋菓子メーカーと取引を開始。同社の創業地の近くには当時、同じくその地に創業した大手洋菓子メーカーの工場があった。その工場の配送応援をきっかけに、正式に配送を任せられるようになった。

さらに、取引先の手洋菓子メーカーとの関係から、全国展開をはじめようとしていた大手アイスクリームメーカーと取引することになって、冷凍・冷

蔵商品輸送が、同社事業の第二の柱に成長した。

平成12年には、事業の柱である自動車部品の輸送で、大手自動車メーカーとの取引が始まった。取引先の変更にもな

って仕事がなくなるかもしれない危機を乗り越えることができ、変更前よりも仕事が増加した。

同社は現在、全国に6つの拠点を有し、整備部門「ヨロズモーターズ」

を含めて、従業員214人（2018年7月時点）を抱えるまでに成長した。

そんな昭市郎会長の意思を受け継ぎ、平成19年に2代目社長に就任した東海林憲彦氏は「全ての従業員に働く場所と希望を、利用者には満足していただけるサービスを提供することが、会社への恩返し」と考え、会社のさらなる発展を目指している。（三村秀寿）

企業年表

昭和34年11月	創業	東海林昭市郎氏が横浜市鶴見区で、東海林商店として創業。
37年9月	創業	運送事業拡大のため、萬運輸を設立。萬自動車（現ヨロズ）と取引開始。
39年4月	創業	大手洋菓子メーカーと取引開始。
43年3月	創業	横浜市鶴見区駒岡に本社及び整備工場を建設。
47年12月	創業	大手アイスクリームメーカーと取引開始。
平成9年7月	創業	整備工場を併設した本社新社屋を建設。
12年3月	創業	大手自動車メーカーと取引開始。
19年9月	創業	東海林昭市郎氏が会長に就任、東海林憲彦氏が社長に就任。